

令和 3 年 3 月 15 日

令和 2 年度 大阪府立三島高等学校 第 3 回 学校運営協議会 議事録

1 実施日 令和 3 年 2 月 19 日(金) 15:40～16:50

2 出席者

(1) 協議会委員 (アイウエオ順)

甲斐 淳志郎 (高槻市第二中学校長)

柏原 泰和 (川西地区青少年健全育成協議会長)

楠 正吉 (三島高等学校同窓会会長)

林 武文 (関西大学教授)

山本 富美恵 (三島高等学校 PTA 会長)

(2) 校長

井上 隆司 校長

(3) 事務局

山崎 一郎 教頭、尾崎 聡 首席・教務部長、前田 隆志 首席・総務部長、

古謝 伸二 事務長

3 議題

(1) 令和 3 年度学校経営計画について

(2) 学校教育自己診断について

4 委員からの指摘提言

(1) 学校経営計画について

- ・現状でも十分達成できているのに高い数値目標を掲げ、さらに上げていくことは難しいと思われるので、何%以上にするのではなく何%を維持するという形でもよいのではないか。
- ・三島スタンダードの説明が必要である。
- ・国公立大学は現役合格者数について目標を掲げているが、私立大学についての指標がないのが気になりである。
- ・中学での観点別評価の実践を高校で発表したり、初任教員研修で中学校の授業を見学したりする等の中学と高校で教員間の交流ができたことがよかった。また部活動でも生徒間の交流ができたことは生徒の刺激になった。
- ・コロナ禍により精神的なケアが必要な生徒が多くなっていると聞いており、府や学校で施策があり対処しているかが気になる。不登校の生徒に対しては出向いてでもケアすることが必要なので、地域として声を上げる必要があるなら協力する。
- ・コロナ禍でオープンキャンパス等がなく大学選択に向けた目標が立てづらいので、共通テストを解いてみるなど具体的な進路に対する課題を掲げてもらえれば保護者も安心できる。
- ・府より生徒一人に一台タブレットが貸与されるが、教師には貸与されないことに対して、同じ物を貸与できるよう運営協議会からも声をあげたい。
- ・大学入試にも「情報」が導入されるので情報機器の整備が必要である。機器の導入で整備等の人的援助が必要であれば大学のインターンシップや卒業生のボランティアで協力させてもらおう。

以上をもって、令和 3 年度 学校経営計画は了承された。

(2) 学校教育自己診断について

- ・生徒アンケートでいじめの対応に対して疑問を持っている生徒がわずかではあるが、いることや教師アンケートの人権指導に対しての数値が気にかかる。これらは限りなく0に近くあってもらいたい。
- ・教師と保護者の認識の数値差があるのは、保護者への情報発信が足りないと思われる。
- ・生徒の図書室の利用が少ないのが気がりである。

以上により、委員からの指摘提言を受けて学校において組織的に対応する。